

島根支部展盛大に開催される
 第二十八回島根支部展は平成二十四年八月二十二日〜二十七日、島根県立美術館二階ギャラリーにて盛大に開催され、山陰中央新聞が詳細に取材、大々的に報道しました。



新日美選抜小品展 事業部 土屋政夫

新しいスタイルにして二回目の選抜小品展を盛会の内に終了できました。皆様のご協力に感謝致します。

今回は絵画と工芸で四十点の作品が出品されました。立派な展覧会になり喜んでます。特に工芸が充実し展覧会に深みが出ました。絵画では数点のお買い上げを頂きました。これからも出品者と来場者が喜んで頂ける展覧会を目指します。

次回からの小品展の担当は土屋から陳、河野の両委員に交代予定です。代りまして、これからも多くの方々の参加を期待しています。

青空と太陽と星と鳥と女の画家ミロ

シリーズ画家伝 大石 亨

ジョアン・ミロは一九九三年四月二十日、スペインのバルセロナに生まれた。ミロが十歳の時、父がモンロチに農場を買い、以後ミロはバルセロナでの都会生活とモンロチでの田園生活を交互に繰り返し成長した。

ゆうちょ口座を持つと便利です

会計 鈴木忠義

郵貯口座を持つと新日美の郵貯口座への振り込みが平成 26 年 9 月末迄の 2 年間無料です。年会費、図録代などが ATM を使い通帳から通帳へ直接振り込めます。おそらく 2 年間だけでなく当分無料で行くと思われます。

新日美ゆうちょ口座

記号 10130

番号 44585611

名義 シンニホンビジュツキョウカイ
 通常の振込みでは毎回手数料が掛かる上、会計担当への通知が数日後ですが、通帳へ直接振り込んでもらうと即日判明し、会計上の口座移し替えの手間も省け大きなメリットがあります。各位共、口座開設を是非お願いします。

四〇年頃から、いわゆる「星座シリーズ」が始まる。戦争を避け南仏から故郷バルセロナへ更にマリヨルカ島へ転々と移りながら精力的に制作を続ける。絵も次第に明るくなる。星座では、世が明け光がさし、鳥がさえずる、人がおどけり、星座は明るさに満たされていく。六〇年代ミロは今一度大きな転機を迎える。絵画を中断して陶芸や版画に熱中するかわらボーリング、アクション等の画法に挑戦する。八〇歳にして自らキャンパスを焼き「美しきマティエール」という。八五歳にして演劇「モリエール・メルマ」に出演。一九八三年九〇歳、マリヨルカ島で死去。

ミロは生まれて初めて農作業を体験し、雑草や昆虫にジカに触れ、田舎の生活に強く心を惹かれた。美術学校に入学、画家を志した。一九一九年、ミロは初めてパリを訪れピカソと会った。ピカソは十二歳年下のカタルニアの青年画家の資質をすぐさま感じ取り自画像を一点買い取った。ミロはその後、スペインに帰ったものすぐさまパリへ舞い戻り、その後もしばしばバルセロナやモンロチへ帰りはしたものの、主にパリに住むようになり、第二次大戦の勃発まで続くこととなった。一九二二年、作品「農園」を完成した。しかし、当時のミロは貧苦のどん底に在って、昼食がまともにも取れるのは週一度だけという状況のなかで制作に励んだ。自分の変形の過程を思わせるようなミロ独特の「記号」の絵画が二六年から三〇年代全般まで続いた。

ところが三〇年代の半ばを過ぎると絵画は一転、異様な怪物、エロチックなものの怪が画面を這い回り回る。三七年〜三八年のスペイン内乱に対するミロの抵抗である。一九三七年「刈り入れ人」を発表。どんな逆境の中でも黙って鎌で刈りいれる農民達の姿を描いた。

スケッチの実施報告と次回予定

事業部 一柳 幸

隅田川リバーサイド 2012-9-20(木)



9月20日ともなれば、川の水の色も夏と異なるのは、さすが江戸の川なる隅田川である。秋の色と言うべきか。しかし乍ら観念的な赤錆色や黄泥色とは全く違うのである。現場を見た目でないと気が付かない色かもしれない。「言問わば 隅田の水や秋の色」と言いたくなるのはひが目でありませんか！

雀のお宿サレジオ教会 2012-10-19(金)

今回のスケッチポイントは「サレジオ教会」と「雀のお宿公園」の二カ所がある。相互に全く異なる雰囲気なもの面白い。

教会のスッキリした塔は魅力的だ。「雀のお宿」といわれる見事な竹藪に、ひっそりと佇む古民家もいい。のどかである。「囲炉裏できく 竹藪雀かしましや」と言った感じもよかった。外に出てスケッチをしたくなった！！



編集後記 36 回展も無事終了し、各自それぞれ落ち着いた気分で、次に思いを廻らしているのではと思います。世は尖閣や竹島、混沌とした政治、不遜な殺人事件など余りいい状況ではありません。先日川越市美術展企画の尚美大学林容子教授による「高齢者社会におけるアートのあり方」という講演を聞きました。精神障害者、高齢者など弱者といわれる人達をアートで元気付ける活動をしている話でした。世の末端となってしまふ弱者、誰もがいずれ弱者になり孤立してしまう傾向にある。こういう人達を美術館に招き、絵に心得のあるコーディネーターが導き、絵を見ながら語り合う、一枚の絵を具体的な視点で見ることで、普段は殆ど話をしない人が、口を開き明るく元気になるという。現在アメリカやイギリスなどではこうした活動が進んでいるということです。弱者でなくてもアートで元気付けられる事は明らかです。まして賞を受ければその効果は絶大だと思います。当会の使命はここにもあるのではと思います。小高

次回予定

- 当日 7 時の天気予報で降水確率 50% を超える場合中止にします。
- 鎌倉さんが池 2012-11-16(金)
JR大船駅改札口前 10 時集合
- 築地本願寺 2012-12-14(金)
築地本願寺正門 10 時集合
- 神田明神 2013-1-23(水)
神田明神入り口鳥居下 10 時集合